

ビジネス文書実務検定試験

第1級 速度部門サンプル問題①（制限時間 10 分）

東京オリンピック・パラリンピックの表彰式では、花束の贈呈が復活する。表彰台で贈られるこの花束は、ビクトリーブーケと呼ばれ、1984年から2014年までの大会で採用されていた。ところが、生花は日持ちがしないことや検疫等の問題があり、自国に持ち帰れないため、最近では代用品として置物やぬいぐるみが渡されていた。	30 60 90 120 150 155
昔から日本には、客人をもてなすために床の間や玄関に花を生けたり、慶事に花を贈ったりする風習がある。また、現在国内で開催される様々な競技大会では、ビクトリーブーケの贈呈が定着している。今回、オリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定したため、花の生産業者を中心として、選手を花束で賞賛しようという気運が高まった。さらに、東北地方で栽培された花を多く仕様することで、復興の進展や感謝の意を表そうとした。	185 215 245 275 305 335 359
その実現に向けて、生産業者は様々な努力を行った。例えば、暑さに耐えられる品種の開発や夏場の現地実証試験、日持ちさせるための研究などである。優れた生産技術に磨きをかけることで、必要な花のすべてを国産で揃えることも可能としている。開催国としての熱意が理解され、IOC（国際オリンピック委員会）との協議を重ねた欠課、記念品も追加することで承認された。	389 419 449 479 509 533
オリンピック用の花束は、宮城県産のひまわりの黄色を基調として、薄緑色や鮮やかな青色の花を選定した。パラリンピック用は、同じく宮城県産であるバラを中心とし、濃い桃色が映える花束となる。大切に育てられた花々は、表彰式という選手たちの貼れ舞台に彩りを添えることだろう。日本のおもてなしの心と感謝の気持ちを込めたブーケが、選手に手渡される瞬間が今から楽しみだ。	563 593 623 653 683 710

ビジネス文書実務検定試験

第1級 速度部門サンプル問題① 模範解答

東京オリンピック・パラリンピックの表彰式では、花束の贈呈が復活する。表彰台で贈られるこの花束は、ビクトリーブーケと呼ばれ、1984年から2014年までの大会で採用されていた。ところが、生花は日持ちがしないことや検疫等の問題があり、自国に持ち帰れないため、最近では代用品として置物やぬいぐるみが渡されていた。	30 60 90 120 150 155
昔から日本には、客人をもてなすために床の間や玄関に花を生けたり、慶事に花を贈ったりする風習がある。また、現在国内で開催される様々な競技大会では、ビクトリーブーケの贈呈が定着している。今回、オリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定したため、花の生産業者を中心として、選手を花束で賞賛しようという気運が高まった。さらに、東北地方で栽培された花を多く使用することで、復興の進展や感謝の意を表そうとした。	185 215 245 275 305 335 359
その実現に向けて、生産業者は様々な努力を行った。例えば、暑さに耐えられる品種の開発や夏場の現地実証試験、日持ちさせるための研究などである。優れた生産技術に磨きをかけることで、必要な花のすべてを国産で揃えることも可能としている。開催国としての熱意が理解され、I O C（国際オリンピック委員会）との協議を重ねた結果、記念品も追加することで承認された。	389 419 449 479 509 533
オリンピック用の花束は、宮城県産のひまわりの黄色を基調として、薄緑色や鮮やかな青色の花を選定した。パラリンピック用は、同じく宮城県産であるバラを中心とし、濃い桃色が映える花束となる。大切に育てられた花々は、表彰式という選手たちの晴れ舞台に彩りを添えることだろう。日本のおもてなしの心と感謝の気持ちを込めたブーケが、選手に手渡される瞬間が今から楽しみだ。	563 593 623 653 683 710